

～ NPM関連データサービス ～

— FDS キャッシュフロー・データ —

データ仕様書

※本資料は、「FDS キャッシュフロー・データ」の仕様書です。提供する各種加工データは、信頼できると思われるデータソースから十分な注意を払い、加工・作成しておりますが、その完全性・正確性を保証するものではありません。また、本情報の利用によって生じた直接的又は間接的な損害については、その内容、態様の如何を問わず、弊社はその一切の責任を負うものではありません。

2021年1月

株式会社金融データソリューションズ

～ NPM関連データサービス ～

FDS キャッシュフロー・データ

株式会社金融データソリューションズ

本資料は、「FDS キャッシュフロー・データ」に収録されるデータ項目の仕様書になります。

ファイル名	CSV(カンマ区切り)ファイル・・・「FDS_Cashflow_Data.csv」 Excel ファイル・・・「FDS_Cashflow_Data.xlsx」
収録対象企業	2020年12月30日時点における全上場登録企業 ※ 但し、日銀(8301)や新規上場直後の企業等、財務データが未収録の企業は除く
収録決算期	本決算実績で2000年3月期以降 + 予想1期本決算(存在する項目のみ)
連結・単独	連結優先で収録 ※ 複数の連結基準は、日本基準→米国会計基準(SEC)→国際会計基準(IFRS)の優先順位で収録
欠損値データ	(CSVファイルのみ)「,」(0バイトスペース)で収録(カンマが2つ連続する)
ヘッダー	(CSVファイルのみ)1行目に各項目に対応するヘッダーを収録 ※ 下記データフォーマットのそれぞれの「データ名称」に<>を付けてヘッダーとしている
合算値データ	以下4通りのユニバースについて合計値を算出し収録 ① ALLJAPAN 銘柄コード = "0001" ② 日経225 銘柄コード = "0002" ③ TOPIX 銘柄コード = "0003" ④ 中小型株 銘柄コード = "0004"

データフォーマットと項目定義

データ名称	単位	項目定義
1 銘柄コード		4桁の証券コード。 合算値レコードは、「0001」、「0002」、「0003」、「0004」のいずれか。
2 銘柄名		日本語名。最大全角5文字。
3 主市場		2020年12月30日時点の厚生年金基金基準の主市場。ID単位(10~99、全50分類)で収録。詳細は4ページ目参照。 合算値レコードはいつも99。
4 東証33業種		2020年12月30日時点の東証33業種分類の業種名。ID単位(1~99、全34分類)で収録。REITや優先出資証券は99(その他)になる。詳細は4ページ目参照。合算値レコードはいつも99。
5 決算期		yyyymmの形式。 合算値レコードはyyyy03で収録。 yyyyはデータ日付が毎年5月に入ったら1年進む。
6 決算月数	[ヶ月]	mmの形式。合算値レコードはいつも12。
7 連単の別		ID単位(1~4)で収録。 1:「単独」2:「連結(日本基準)」3:「連結(SEC基準)」4:「連結(IFRS基準)」 合算値レコードはいつも2。
8 時価	[円]	決算期末時点の時価。 予想決算期レコードには2020年12月30日時点の時価を収録。 合算値レコードは「加重平均単価」を収録。
9 発行済株式数	[株]	決算期末時点の普通株発行済株式数(権利落ち後の株式数)。

		<p>予想決算期レコードには2020年12月30日時点の株式数を収録。 合算値レコードは「株数合計」を収録。「時価」(加重平均単価) × 「株数合計」で、合算値レコードの「時価総額合計」が算出される。</p>
10 売上高	[百万円]	<p>P/L上の売上高・営業収益。予想値も収録。 但し、金融・REITについては、以下で定義された項目を用いる。 2004年3月期以前の手前大手商社5社(伊藤忠、丸紅、三井物産、住友商事、三菱商事)の売上高は推計値。 銀行・・・経常収益 証券・・・営業収益 損保・・・経常収益 生保・・・経常収益 REIT・・・営業収益</p>
11 売上高前年比伸び率	[一]	<p>売上高の前年比(100倍で[%])。年率換算後に計算。予想レコードも計算。 前期と当期で「連単の別」が異なる場合は欠損値で収録。</p>
12 売上総利益	[百万円]	<p>P/L上の売上総利益。 2006年3月期以降、電力・通信など一部の企業で営業利益が収録される場合がある。 金融・REITの売上総利益は売上高と同一とする。</p>
13 売上総利益/売上高	[一]	<p>売上総利益/売上高(100倍で[%])。</p>
14 営業利益	[百万円]	<p>P/L上の営業利益。予想値も収録。 証券の米国会計基準(SEC基準)採用企業で、営業利益が無い場合、税引前当期純利益で代用。 銀行・損保・生保については、以下で定義された項目を用いる。 銀行・・・業務純益(未公表は欠損値にて収録) 損保・・・正味収入保険料 生保・・・保険料等収入</p>
15 営業利益/売上高	[一]	<p>営業利益/売上高(100倍で[%])。予想レコードも計算。</p>
16 当期利益	[百万円]	<p>P/L上の当期利益。予想値も収録。 米国会計基準(SEC基準)採用企業は「当社株主に帰属する当期利益」 国際会計基準(IFRS基準)採用企業は「親会社の所有者に帰属する当期利益」</p>
17 NCA (Non Cash Adjustment)	[百万円]	<p>営業キャッシュフロー詳細項目より計算。 非資金損益項目の合計。 詳細は「キャッシュフロー分類一覧.xls」を参照。</p>
18 CCF (Core Cash Flow)	[百万円]	<p>当期利益+NCA。</p>
19 WCCF (Working Capital Cash Flow)	[百万円]	<p>営業キャッシュフロー詳細項目より計算。 売掛・買掛などの運転資金項目合計。 詳細は「キャッシュフロー分類一覧.xls」を参照。</p>
20 OCF (Operating Cash Flow)	[百万円]	<p>CCF+WCCF。</p>
21 CBI (Core Business Investment)	[百万円]	<p>投資キャッシュフロー詳細項目より計算。 投資項目合計。但し、本業から発生したフローのみを合算する。 詳細は「キャッシュフロー分類一覧.xls」を参照。</p>
22 FCF (Free Cash Flow)	[百万円]	<p>OCF+CBI。</p>
23 CVA (Cash Value Added)	[百万円]	<p>CCF+CBI。</p>

24	現預金	[百万円]	B/S上の現金・預金（受取手形・売掛金含む）。 金融（銀行・証券・損保・生保）・REITは欠損値。
25	総資産	[百万円]	B/S上の資産合計。
26	自己資本	[百万円]	B/S上の資本合計。 但し、2006年5月期（会社法施行）以降は、「純資産」－「新株予約権」－「少数株主持分」。
27	短期債務	[百万円]	B/S上の短期債務。「短期借入金」＋「コマーシャルペーパー」＋「短期社債」 ＋「1年内返済の長期借入金」＋「1年内償還予定の社債」＋「1年内償還 予定の新株予約権付社債」。 金融（銀行・証券・損保・生保）・REITは欠損値。
28	長期債務	[百万円]	B/S上の長期債務。「社債・新株予約権付社債」＋「長期借入金」。 金融（銀行・証券・損保・生保）・REITは欠損値。
29	配当	[百万円]	財務キャッシュフロー詳細項目より計算。 配当支払金額。 詳細は「キャッシュフロー分類一覧.xls」を参照。
30	増減資	[百万円]	財務キャッシュフロー詳細項目より計算。 株式発行による調達、自社株式の取得・売却による収支等。 詳細は「キャッシュフロー分類一覧.xls」を参照。
31	借入増減	[百万円]	財務キャッシュフロー詳細項目より計算。 借入金の調達・返済による収支。 詳細は「キャッシュフロー分類一覧.xls」を参照。
32	その他	[百万円]	財務キャッシュフロー詳細項目より計算。 上記「配当」「増減資」「借入増減」以外の財務キャッシュフロー項目の合計。 詳細は「キャッシュフロー分類一覧.xls」を参照。
33	現金増減	[百万円]	キャッシュフロー計算書の「現金および現金同等物の増減額」。 詳細は「キャッシュフロー分類一覧.xls」を参照。

NOTES

- ※ 過去分は有価証券報告書データを、有価証券報告書が公表されていない直近決算期は決算短信データを使用。
- ※ 「売上高」、「営業利益」、「当期利益」については、データ作成時点の業績予想値（FDS 予想）を収録。更に予想レコードでは、「売上高前年比伸び率」、「営業利益／売上高」も計算。
- ※ 上場前の決算期でも、有価証券報告書（新規上場申請のための有価証券報告書を含む）に収録されているものについては収録する。この場合、上場前の「時価」、「発行済株式数」は欠損値となる。
- ※ 連結データで、B/SデータがあつてP/Lデータが無い（期末時点で連結対象子会社が初めて発生）、あるいはP/LデータがあつてB/Sデータが無い（期中に連結対象子会社が消滅）、というケースが稀に存在するが、このようなケースでは一律で単独データを収録。
- ※ 合算値計算に用いる4つのユニバースは、常にデータ作成時点のユニバースを過去分にそのまま適用している（その時点時点での指数採用銘柄ではない）。具体的には、以下の通り。
 - ① ALLJAPAN データ作成時点の収録対象全企業
 - ② 日経225 データ作成時点の日経平均採用企業
 - ③ TOPIX データ作成時点のTOPIX採用企業
 - ④ 中小型株 データ作成時点の収録対象全企業から日経225採用企業を除いた企業
- ※ 合算値レコードの各項目に関しては、各ユニバースに属する企業について、年率換算後（B/Sなどの項目を除く）の数値（欠損値は除く）を単純合算した。「売上前年比伸び率」、「売上総利益／売上高」、「営業利益／売上高」の3項目に関しては、合算数字を用いて比率を計算。また、予想値の合算値レコードは、予想が存在する項目に限り収録（その他の項目はすべて欠損値）。

主市場と東証 33 業種

主市場

ID	主市場
10	東証
11	東証1部
12	東証2部
13	東証外国部
14	東証特則
15	東証マザーズ
16	東証REIT
17	東証ETF
20	大証
21	大証1部
22	大証2部
23	大証新2部
24	大証カントリーファンド
25	大証特則
26	大証新市場
27	大証REIT
28	大証ベンチャーファンド
29	大証ETF
30	名証
31	名証1部
32	名証2部
33	名証新2部
34	名証特則
35	名証外国部
36	名証セントレックス

ID	主市場
37	名証ETF
40	福証
41	福証外国部
42	福証特則
43	福証Q-Board
44	福証REIT
45	福証ETF
50	札証
51	札証外国部
52	札証特則
53	札証アンビシャス
54	札証ETF
60	JASDAQ
61	JASDAQ管理
62	JASDAQ特則
64	JASDAQ第二号
65	JASDAQ外国部
66	JASDAQREIT
67	店頭管理
68	店頭登録
69	店頭特則
70	TOKYO PRO Market
80	ヘラクレス
98	合併上場廃止期間
99	その他(合算レコード含む)

東証33業種分類

ID	業種名
1	水産・農林
2	鉱業
3	建設
4	食料品
5	繊維製品
6	パルプ・紙
7	化学
8	医薬品
9	石油・石炭製品
10	ゴム製品
11	ガラス・土石製品
12	鉄鋼
13	非鉄金属
14	金属製品
15	機械
16	電気機器
17	輸送用機器
18	精密機器
19	その他製品
20	電気・ガス
21	陸運
22	海運
23	空運
24	倉庫・輸送関連
25	情報・通信
26	卸売
27	小売
28	銀行
29	証券・商品先物取引
30	保険
31	その他金融
32	不動産
33	サービス
99	その他(合算レコード含む)

以上。

※ 本資料は、「FDS キャッシュフロー・データ」の仕様書です。提供する各種加工データは、信頼できるとされるデータソースから、十分な注意を払い、加工・作成しておりますが、その完全性・正確性を保証するものではありません。また、本情報の利用によって生じた直接的又は間接的な損害については、その内容、態様の如何を問わず、弊社はその一切の責任を負うものではありません。